

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
2020年度第3回短期大学会議教育改革ICT運営委員会議事録

I. 日時 令和2年12月26日(土) 14:00~16:00  
場所 ZOOM 会議室

II. 出席者 戸高委員長、三田委員、西岡委員、後藤委員、大重委員、  
山野美容芸術短期大学(及川先生)、和泉短期大学(深町先生)、  
大阪夕陽丘学園短期大学(治京先生)、別府大学短期大学部(衛藤先生)  
\*すべてネット(ZOOM)にて出席  
(事務局 井端事務局長、中村)

III. 検討事項

1. 地域貢献支援事業における今年度の取組み状況の確認と、来年度の取組み計画の見通しについて

参加校にて作成した「2020年度活動報告書、2021年度活動計画書」に基づき取組み状況と現状における来年度の取組み見通しを報告し、情報を共有した。

(1) 高齢者支援事業

- ・ 実践女子大学短期大学部と山野美容芸術短期大学は「ICT活用による世代を超えた交流活動」をテーマに異世代参加者(短大OB、日野市職員、地域の自治会長などの社会人、高齢者)と連携し、昼休み時間を活用して前期8回後期8回、ZOOMによる異世代との交流活動を実施した。参加者数は実践女子大学短期大学部7名~11名、山野美容芸術短期大学15名~18名、異世代は前期12名、後期9名であり顔合わせ、意見交換、学生と高齢者社会人によるミニプレゼン、グループ代表学生による全体発表を実施したことが報告された。
- ・ 参加した学生はICT活用の経験、他校など日常機会がない学生や外部参加者である異世代、社会人との情報交流ができたことを評価しており、担当教員からは、机上の学習とは違う学びにより学生のモチベーションの向上があったこと等が報告された。
- ・ 課題は、高齢者に対するネット環境の確保とサポート体制であることが報告された。
- ・ 来年度は今年度の経験を踏まえ進めたいが、短大間の共通実施時間(昼休み時間等)の工夫、サポート体制の維持、今年度中止となった対外活動の再開など現時点で不明な要素があることが報告された。

なお、来年度の取組みを検討するためには今年度末までの間、可能な限り自治体と今後の連携について相談を試みる必要があることが確認された。

(2) 地域価値発見支援事業

① 大阪夕陽丘学園短期大学の取組み

- ・ 志摩市とは、「文化・教育・学術・まちづくり等の分野の推進に関する連携協定」のもとキャリア創造学科2年生60名が正規の授業の一環としてパールズコレクションの準備を進め決起大会を開催、2月開催予定であることと志摩市のホームページでも短大との取組みが紹介されていることが報告された。
- ・ 大阪天王寺区とは、「健康・栄養・食育の推進に関する連携協定」のもと、食物栄養学科2年生113名が6月7日に大阪市主催の健康講座やレシピサイトで情報発信を行ったことが報告された。
- ・ 養父市とは10月に連携協定を締結し、来年度はキャリア創造学科学生にボランティアを募り養父市が2021年度に新設する文化施設でウェディング業務に協力する予定であることが報告された。
- ・ 来年度は今年度の結果を踏まえ各自治体への支援事業を進める予定であり、志摩市との事業では従来のキャリア創造学科2年生60名に1年生60名が加わり、また食

品栄養学科若干名が加わることで地産地消のメニュー開発を試る計画であることが報告された。

- ・ なおパールズコレクションを大阪市で開催する計画があり、大阪夕陽丘学園短期大学、志摩市に大阪市(天王寺区)が加わり連携の輪が広がることで自治体連携による新しい展開の可能性が期待できることも報告された。

#### ② 上田女子短期大学の取組み

- ・ コロナ禍により計画していた自治体(上田市、佐久市)、地元企業(上田電鉄)や団体(日本遺産推進協議会、信州上田観光協会等)と連携した支援事業がいずれも停滞していることが報告された。なお、短期大学生有志によるボランティア活動である上田電鉄の路線紹介ガイド制作については地域紙、地元ケーブルテレビで紹介されたことが報告された。
- ・ 来年度については自治体(上田市、佐久市)の動向が予測できず、短大としては全く未定の状況であることも報告された。

#### ③ 別府大学短期大学部の取組み

- ・ コロナ禍により計画していた佐伯市豊南高との連携を踏まえた佐伯市と支援事業は停滞しており、来年度についても予測できず、未定の状況であることが報告された。

#### ④ 和泉短期大学の取組み

- ・ コロナ禍により計画していた相模原市との支援事業は停滞しており、来年度についても予測できず、未定の状況であることが報告された。

### (3) 地域課題取組情報共有の支援事業

担当(西岡委員)より地域貢献支援事業における情報共有のプラットフォームに利用する GoogleClassroom のについて実際に画面を共有し操作を行い「プラットフォーム運用マニュアル」に従ってクラスルーム開設やメンバー登録、資料掲載方法等の説明を行った。

出席者から出された GoogleClassroom のログイン設定や操作方法等について説明を行うとともに慣れてもらうためが必要であること、GoogleClassroom には、地域支援事業の「取組み成果」や「進捗状況」などコンソーシアムに参加している短大間で共有すべき情報を載せていくことが確認された。

また、引き続きプラットフォーム構築をすすめ、まず今年度の地域貢献支援事業の取組み状況を載せられるようにすることを確認した。

## 2. 今後の委員会開催日程について

次回委員会は2月27日(土)14時に引き続き ZOOM 会議にて開催し、主に今年度の成果の確認と来年度の取組み計画について検討することとした。